

第6章 ピッチ変換に便利なシール基板

佐藤 四郎

ぺたぺた貼れて便利なシールには、ずっとお世話になってきました。工作や補修に、そして見回せば身近なところにシールはたくさん使われています。ステッカやラベル、粘着テープもシールの一種と考えられます。もしもこれらがなかったら、どんなに不便な世の中になってしまうことでしょう。

本章は、表面実装部品を使用した実験基板作りに便利な、ぺたぺた貼って簡単に基板が作れるシール基板を紹介します。

● シール基板って何だろう

シール基板は、表面実装部品のピッチ変換に使います。シート状で、表面実装部品を2.54mmピッチの蛇の目基板に載せることができます。さまざまなタイプがあり、チップ抵抗やコンデンサ、トランジスタ、ICなどに対応しています。

厚みが0.1mmと極薄のガラス・エポキシでできていて、はさみで簡単に切り取って使えます。金めっきが施されているので保存性が良く、うっかり手で触っても酸化しにくいので、加工や実装も楽です。

● いろいろな形状がそろっている

写真1は、ミニモールド・トランジスタ用です。左から0.5mm、0.65mm、0.95mmピッチの変換基板です。いずれも3、5、6極の3種類のパターンが用意されています。

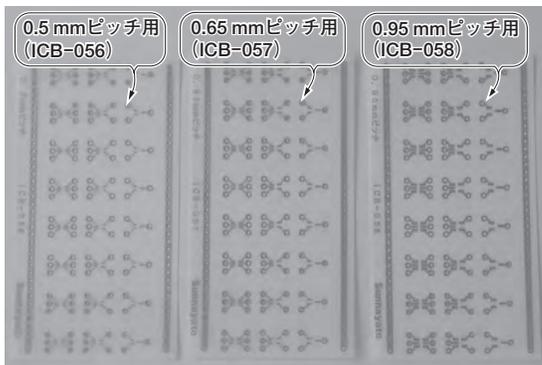


写真1
チップ・トランジスタ用のシール
基板(サンハヤト)